

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和元年度第1回ふじみ野市男女共同参画推進審議会			
開催日時	令和元年7月16日（火） 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時30分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎2階A202会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	石井ナナエ	委員	佐藤 雅美
	副会長	斎藤 宏	委員	大河内玲子
	委員	尾山みゆき	委員	奥田 俊幸
	委員	西川けい子	事務局	土屋 浩
	委員	笠谷 隆久	事務局	谷口 隆二
	委員	前田 清海	事務局	小林 真子
	委員	黒須さち子	事務局	坂本心太郎
会議の議題	(1) 第2次男女共同参画基本計画実施計画・事業計画について (2) 審議会等の女性登用状況調査の結果等について (3) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	(1) 第2次男女共同参画基本計画進捗状況報告書 (2) 令和元年度行政委員会・審議会等の女性の登用状況について (3) 女性情報誌「燦」No.23			
事務局	市民生活部 市民総合相談室			
議事の確定	確定年月日	年 月 日		
	記名押印 又は署名	役職名 ふじみ野市男女共同参画推進審議会会長 石 井 ナナエ ㊟		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>●配布資料の確認</p> <p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまより、令和元年度第1回男女共同参画推進審議会を開会いたします。出席は12人中10人であり、委員の過半数を超えておりますので、ふじみ野市男女共同参画推進条例施行規則第3条第2項により、審議会が成立しております。なお、傍聴者は現時点でおりません。</p> <p>●会長・副会長の選出</p> <p>委員の互選により、石井ナナエ会長、斎藤宏副会長を選出</p> <p>まず、会長からごあいさつをいただきたいと思えます。</p>
石井会長	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>世の中が目まぐるしく変わっていく中で、男女共同参画の委員に選ばれている自分に何ができるのかと力のなさを感じていました。しかし、今日の午前中ですが、DVで子どもがいじめられて生活困窮の人の相談を受け、自分に与えられた任務を全うしようと気を取り直しました。皆さんの意見をたくさんお聞きしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>昨年10月1日に委員の皆様へ2期目をお願いしているところですが、一部委員に変更が生じています。</p> <p>そこで、各委員の皆様より簡単に自己紹介お願ひいたします。</p> <p>●審議会委員自己紹介</p> <p>続きまして、職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>●事務局職員自己紹介</p> <p>それでは議事に移ります。議長は、規則第3条第1項の規定に</p>

	より会長にお願いします。
石井会長	それでは初めに議題の（１）「第２次男女共同参画基本計画実施報告・事業計画について」の説明を、事務局からお願いします。
事務局	【第２次男女共同参画基本計画実施計画・事業計画について、資料１により説明】
石井会長	事務局から説明がありましたが、これについて何か質問やご意見はありますか。
前田委員	努力はされているなあと思います。しかし、まだ課題も多いので、引き続き、頑張っていたきたいと思います。
佐藤委員	「男性職員の育児休業取得率」が０％ということですが、私の職場も、なかなか男性は取得できない状況です。何とか改善して取得しやすくなるといいと思います。
大河内委員	目標を達成できないのは、それなりの理由があると思いますので、そこで納得せずに、達成できるように対策を考えてほしいと思います。
奥田委員	先ほども「男性職員の育児休業取得率」についてご意見がありましたが、民間企業では職業安定所からある程度の育児休業手当が出ますが、市役所はないのでしょうか。
事務局	育児休業期間中は、給与の支給はありません。
奥田委員	そのあたりが課題ではないでしょうか。私の会社では一昨年、男性の育児休業の取得がありましたが、やはり手当が支給されるということは重要だと思います。 それから、「待機児童数（保育所）」が５人になっているということですが、大変素晴らしいことだと思います。０人になるよう引き続き頑張っていたきたいと思います。
笠谷委員	質問ですが、「男性職員の育児休業取得率」の目標が１５％となっていますが、この数値が高いのか低いのかの判断材料になる

	<p>と思いますので、分母、分子がわかったら教えてください。</p>
事務局	<p>本日は細かい数字を持ち合わせていませんが、対象年齢層の男性職員数から導き出しています。</p>
石井委員長	<p>育児休業の問い合わせをしてきた職員数はわかりますか。</p>
事務局	<p>問い合わせは何件かあった、との担当課からの報告でしたので、件数は把握しておりません。</p>
西川委員	<p>保健センターで母子手帳の交付だけではなく、同時に相談を実施するという手法は、気が付きにくい事象の早期発見につながるいい取り組みですので、他の部署でもそのようにしていただけるいいと思います。</p>
尾山委員	<p>防災の拠点に女性の視点を取り入れようと、危機管理防災課が努力していることがこの報告書から見て取れます。評価できる点だと思います。</p>
斎藤副会長	<p>成果指標や管理指標は5年後を見据えた数値ですので、現時点であまりこだわる必要はないと思いますが、結果欄の○や△の判断基準があいまいで、この印を見た方が勘違いしないかと気になります。</p>
事務局	<p>この資料はホームページ等で公開しますので、委員の皆様が表示を変更したほうがいいということであれば、後ほど、この会議で決めていただければと思います。</p>
前田委員	<p>先ほど「待機児童数（保育所）」の話が出ましたが、10月からの保育無償化の動きなどから、自治体によっては待機児童数を減らすために、保育所に定員増を要請するということもあるようです。</p>
黒須委員	<p>「防災会議における女性委員の割合」が減っている要因が、あて職だから男性の占める割合が高いということになっていますが、子どもの防災という視点から子育て支援センターや保育所など女性が多い職場から選出するなど工夫を凝らせると良いのではないかと思います。</p>

佐藤委員	<p>同様に、「女性防災リーダー数」が少ないと思います。長い避難生活になると、子育てや介護など女性目線による対応が必要になってきます。講習会などをもっと実施して、少しずつでも増員していただきたいと思います。</p>
大河内委員	<p>「セクシャル・ハラスメント等職員研修受講者人数」はいいペースで進捗していると思いますが、5年の間には新たに入庁する職員、或いは退職する職員もいると思いますので、もっと積極的に実施してよいのではないかと思います。</p>
奥田委員	<p>「生活困窮者窓口での女性のための就労支援件数」が33件、下欄の「生活困窮者個別支援プラン作成割合」が41%なので、12～3人がプランを作成したということなのではないでしょうか。</p> <p>私の会社もそうですが、どこの企業や事業所も人手不足の状況です。しっかりと指導していただければ必ず就職できると思っていますので、積極的な支援をして件数の増加につなげていただければと思います。</p>
笠谷委員	<p>性同一性障がいの方の名前ですが、アルバイトや就職、病院などの場面で困ることが多いと聞きます。そのためにも、施策番号16番の性に関する相談体制の充実、これが大変重要になると思いますので、さまざまな相談にも対応できるよう、より専門的な知識を身につけていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>市民総合相談室では弁護士相談や女性相談で対応していますが、これまでの実績はありません。</p>
黒須委員	<p>With You さいたまでは、医療系大学の実習を受け入れていますが、やはり病院で困ったというような話も聞きます。例えば、入院したときに病室はもちろんです、患者衣の色が性別で決められているなどです。一方で、名前でなくて番号で順番待ちができたり、フルネームではなくて姓だけで呼んだりするなど工夫を凝らしている病院も増えてきました。</p>
西川委員	<p>市の相談の受け方にも工夫が必要ではないでしょうか。女性相談という名称の検討、電話相談の実施やレインボーフラッグの掲示など、相談者への安心感につなげてほしいと思います。また、</p>

<p>尾山委員</p>	<p>相談を受ける側の研修や学習会の実施はもちろんですが、関連団体や機関等のしっかりとした情報を提供できるようにするべきだと思います。</p> <p>子育て支援課の「働くママ、パパのつどい」ですが、結果的に男性の参加がなかったと報告されています。継続して実施するにも同じ結果にならないようにする工夫が必要だと思います。例えば、保健センターの「パパママセミナー」には男性の参加があるようですので、うまく「働くママ、パパのつどい」へ参加者がつながるように連携をしていただくのも手法の一つではないかと思います。</p>
<p>斎藤副会長</p>	<p>「生活困窮者窓口での女性のための就労支援件数」が◎で、その下欄の「生活困窮者個別支援プラン作成割合」が×ということですが、こういう関連した指標はまとめて考える必要はないかと思います。先ほども言いましたが、1ポイントまたは1件の増減で結果欄の印が決まってしまうのではなく、現実に即した形になればいいのかなと思います。</p>
<p>石井会長</p>	<p>今、皆様から出された意見は事務局に一任することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「異議なし」</p>
<p>事務局</p>	<p>結果欄の印については、皆様にお諮りしたいと思います。</p> <p>●結果欄について 欄を抹消する、基準を見直す、進捗状況という表示名に変える等の意見が出たが、進捗状況という表示名に変えることに総意で決定</p>
<p>石井会長</p>	<p>続きまして議題の（２）「審議会等の女性登用状況調査の結果等について」の説明を、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【審議会等の女性登用状況調査の結果等について、資料２により説明】</p>
<p>石井会長</p>	<p>事務局から説明がありましたが、これについて何か質問やご意</p>

	見はありますか。
尾山委員	農業委員会の説明の中で「世の中が変わらないと…」と言っていました。それは極論だと思います。例えば、農業委員会の会議に農協の女性部の方にオブザーバーでもいいので出席していただき、女性が参加するという土壌をつくれれば次回の改選時につながるのではないのでしょうか。
事務局	農業委員会ではない農業系の会議には女性委員もいるのですが、農業委員会はハードルが高いと言われていて、産業振興課も苦慮しているそうですが、今回いただきましたご提案は担当に伝えておきます。
石井会長	ほかにご意見はありませんか。
委員	「なし」
石井会長	今、出された意見については、よろしくお願ひします。 では続きまして、(3)「その他」について、事務局からお願ひします。
事務局	●女性情報誌「燦」について 次号からタイトルを男女共同参画情報誌「燦」に変更したい旨の説明 市民編集委員の公募は続行する一方、編集委員の負担軽減のため、職員による編集も了承してほしい旨の説明
石井会長	ほかになければ、以上で本日の議題を終了しましたので、進行を事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございました。では閉会のごあいさつを斎藤副会長からお願いいたします。
斎藤副会長	これを持ちまして、令和元年度第1回男女共同参画推進審議会を終了いたします。